

2026 年 1 月 11 日

校長 岡 利道

部活動 点描 ～吹奏楽部～

新年、明けましておめでとうございます。新たな年の「部活動 点描」のスタートを飾るのは、今後の活躍が益々期待される吹奏楽部さんです。

部員は現在１年生の２名です。顧問は金廣教諭で、外部講師は本校吹奏楽部
OGの榊上先生です。

「エーッ」という声が聞かれそうな部員数かもしれませんが、私たちにとっては技術面でも意欲面でも誇るべき生徒です。一人はフルート奏者、もう一人はチューバ奏者で、先生方はそれぞれの個性を見抜き、最善の指導をされています。

逆に、小回りの良さを生かして、一人のパート練習、ペアあるいはトリオ（榊上先生に加わっていただいて）による練習と、工夫して取り組んでいるのです。このあたりの精神面での強さは頼もしい限りです。勢いはより強くなり、次年度以降、メンバーも増えていくに違いありません。そばで見てきた私が、自信を持って言います！

12月のとある日、二人のメンバーと話す機会がありましたので、概要をお伝えしましょう。

Q：今まで出演した演奏活動として一番心に残るのは？

A：附属幼稚園ですね。とても楽しかったです。「青と夏」、「ピクミン種のうちた」、「勇気 100%」、「Happiness」など。

Q：そう、反応がストレートで、楽しんでくれたのが伝わってきましたね。
ところで、部員が少ないのは、つらい時もあるでしょう？

A：中学校時代は大人数で、今はごく少数。さみしくなる時もあります。難しい面もあります。演奏曲が限られますので。だけど楽しいです。いい経験になっていると思います。

Q：前向きだなあ。さて、これからの夢は？

A：部員が増えて、いろんなステージで演奏したいです。やっぱり、コンクールに参加したいなと思います。文教祭ももっと盛り上げたいです！

このミニコンサートは、6月19日(木)に行われました。



好評価をいただきまして、何と 12 月 24 日(水)に吹奏楽部さんは附属幼稚園に再登場しました。当然クリスマスソングの定番「ジングルベル」、「学園天国」や「となりのトトロ・メドレー」などのにぎやかな曲が並びました。園児さんたちも大喜びだったと金廣先生からお聞きしました。

ヤッタネ、吹奏楽部さん。今年も駿馬（しゅんめ）のごとく疾走してください！

第 2 学期終業式での挨拶

前学期の終業式での挨拶で、私は次のようなことを生徒の皆さんに話しました。保護者の皆様にもご一読いただければ幸いです。

と申しますのも、この中で、12 月 8 日(月)～14 日(日)にかけて実施されました本校初めての海外研修のことを取り上げています。正式には、「広島文教大学附属高校オリジナル 2025 年度 フィリピン・セブ海外研修プログラム」です。未知なる世界に果敢にトライした有志生徒の皆さん。その成功を強く願っておりました私自身、感無量でありました。参加生徒の頑張りで、期待以上の成果がありましたことを補足させていただきます。



皆さん、おはようございます。

今日で 2 学期が終わりますね。まず、この 2 学期を振り返って、皆さん一人ひとりの頑張りに心から感謝します。学習や部活動、学校行事など、さまざまな場面で努力を重ねてきた姿を、私も誇りに思っています。

特に、ここでは直近の行事を取り上げますね。12 月 8 日から 1 週間かけて行われた本校初めての海外研修に参加した 19 名の皆さん、本当にお疲れ様でした。研修先はフィリピンのセブ島、その拠点は、広島文教大学の姉妹校、ラブセブ国際大学でした。現地での英語学習や SDGs に関連する活動を通して、世界の課題に向き合い、異文化を理解しようとする姿勢は素晴らしいものでした。初めての試みで、準備や現地での生活には困難もあったと思います。

しかし、皆さんはそれを乗り越え、充実した学びを得て帰ってきました。このエンジョイ&トライは、皆さん自身の成長だけでなく、学校全体に新しい風を吹き込んでくれました。

この海外研修の成功は、まさに本校の教育理念を体現するものです。この19名の皆さんは、本校を代表して参加したと言っても過言ではありませんので、この成功は、生徒皆で共有化できると思います。

ここで、初代校長の武田ミキ先生の言葉を紹介します。

「社会の正常なる発展は帰するところ人であります。本学園の教育指針は、この人づくりであります。社会環境の欠陥や忌まわしい社会風潮に惑わされることなく、如何なる苦難にも挫けることなく、強く正しく明るく生き抜く力を養い、世界に誇る美しい日本女性の美德を身につけ、社会の浄化発展に役立つ人材の育成が本学園教育の根本理念であります。」

この言葉にあるように、どんな困難にも負けず、強く正しく明るく生き抜く力を身につけることが、私たちの目指す教育です。今回の海外研修で皆さんが示した姿勢は、この理念に通じるものだと感じています。

さて、明日から冬休みです。しっかり体を休めることはもちろん大切ですが、3学期に向けて計画的に家庭学習を進めてください。特に、これまでの学びを振り返り、弱点を補強する時間にしてほしいと思います。

そして、3学期には、皆さんが元気な笑顔で登校してくれることを心から楽しみにしています。最後に、新しい年が、皆さんにとってさらに飛躍の年になることを願って、私の終業式挨拶といたします。



いかがだったでしょうか？ おそらく保護者の皆様からは、「是非とも海外研修の報告会をしてほしい」とのお声が聞かれるのではと思います。本校のホームページでは、ブログ・コーナーに一日ごとの概要を紹介していますので、大まかにはわかるでしょう。しかし、参加生徒たちが、何を体験し、どう感じたのか、フィリピン・セブでなければ学べなかったことは何なのか、といった問いかけがあると推察します。

いずれ、何らかの形で、この研修を振り返り、報告の場を持ちたいと考えております。どうかよろしく願いいたします。

また、「終業式での話はわかったんだけど、三学期の始業式ではどんなことを話したの？」とお思いになるのではないのでしょうか。それにつきましては、このおたよりの次号でお伝えします。お待ちくださいませ！